



在仏日本商工会議所 会頭 挨拶

2017年の在仏日本商工会議所（CCIJF）会頭を務めております、三菱東京UFJ銀行パリ支店支店長の小林史人です。

今年度のCCIJFは、昨年度掲げてきた次の3つのテーマを継続し、更に前へ進めていきたいと考えております。

- ①フランスで活動する日系企業の問題意識を、フランスの関係先と共有し、問題解決を目指すこと。
- ②不確実性が増す国際経済情勢の中、会員の皆様と力を結集すると共に、知見、経験を共有し、日本企業のネットワークを更に広げ、拡充すること。
- ③良き企業市民として、地域社会あるいはフランス社会に貢献すること。

来年は日仏友好160周年となります。CCIJFとして改めて原点に立ち返って、フランスで活動する日本企業の皆様と1つの「Équipe・チーム」として、強く連携、協働しながら難しいビジネス環境に立ち向かい、確かな足跡を残していきたいと考えております。どうぞCCIJFの活動に積極的にご参加、ご支援、ご協力をいただきたく、宜しく願い申し上げます。



CCIJF

27 avenue Pierre 1er de
Serbie, 75116 PARIS
Métro: ⑨ Alma Marceau

在仏日本商工会議所 について

会議所概要

1963年に設立されたフランス1901年法に基づく「協会」

正会員204社、賛助会員32社
(2017年5月末)

お問い合わせ先

在仏日本商工会議所事務局
(事務局長 山田、次長 柳川)
所在地：27 avenue Pierre 1er de
Serbie, 75116 Paris

電話：01 45 63 43 33

メール：secretariat@ccijf.asso.fr

Web：www.ccijf.asso.fr

事務局対応時間：月曜～金曜 9時～12時
13時半～17時

会員構成 (2017年5月末)

正会員（仏進出企業及び日本政府機関）：204社
賛助会員（地元仏企業及び仏政府系機関）：32社
推薦会員：1名

* 推薦会員は、正会員企業OB理事経験者または
CCIJF活動に貢献しえる者

以下のような問題意識をお持ちの企業様の 加入を歓迎いたします。

- ・フランス進出を考えているが・・・
- ・フランスでのビジネスでわからないことが・・・
- ・フランスに赴任してきたが、日本人と出会わない・・・
- ・治安や安全、けがや病気の時の不安が・・・
- ・フランスでの企業プレゼンスを高めたい・・・
- ・フランスでのビジネスをもっとやりやすくしたい・・・
- ・フランス企業とのネットワークを構築したい・・・
- ・フランス社会に貢献したい・・・
- ・日仏関係の発展に寄与したい・・・



在仏日本商工会議所 CCIJF

Équipe・チーム

« 日本企業の「声」を束ね、
「力」を結集して、個社が単独で
解決することが困難な課題や問
題の解決・改善に取り組む »



活動目的：

会員利益

会員共通の利益に関する諸案件の解決または推進。

日仏交流

フランスと日本との経済・通商の発展及び親善の推進に寄与。

会員親睦

会員相互の交流・親善。

**フランスで活動する日系企業の
課題・問題・悩みを、
フランスの関係機関と共有し、
問題解決を目指します。**

日系企業が抱える問題意識の フランス関係先との共有

フランスで活動する日系企業が抱える課題や問題を、フランスの関係政府や機関と共有し、問題解決を目指しています。

2016年4月に、労働・雇用環境、経済連携協定（EPA）/自由貿易協定（FTA）の締結促進、輸出入規制、金融・税制および社会保障、治安・安全、生活設営という6分野について、会員企業の声を集めたポジション・ペーパーを作成しました。

このレポートは、Business Franceや仏国外務省に提出されました。こうした活動は、会員企業のみならず、これからフランスに進出してくる日系ビジネスを支援することになると考えています。

日系企業一丸となった社会貢献 活動に取り組んでいます。

日系企業全体の存在感が日系社会に留まらずフランス国内で広く認知されるよう、個社では対応しにくい社会事業やイベントに対する寄付を始めとする社会貢献活動を進めて行きます。

日系企業の相互連携と日仏交流 を促進いたします。

講演会、セミナー、各種イベントの開催。地方視察、他日系団体との交流も盛んに行っております。



2016年6月24日ビジネス フランス
ジャパン フォーラム
中江前会頭による仏国政府あて
ポジション・ペーパーの説明



2016年9月
フランス国立図書館「体感する
地球儀・天球義展ツアー」



2017年3月 マルセイユ視察ミッション